

36

昭和十四年一月

定元出 松尾成

才成

日

特別  
14  
1919  
232

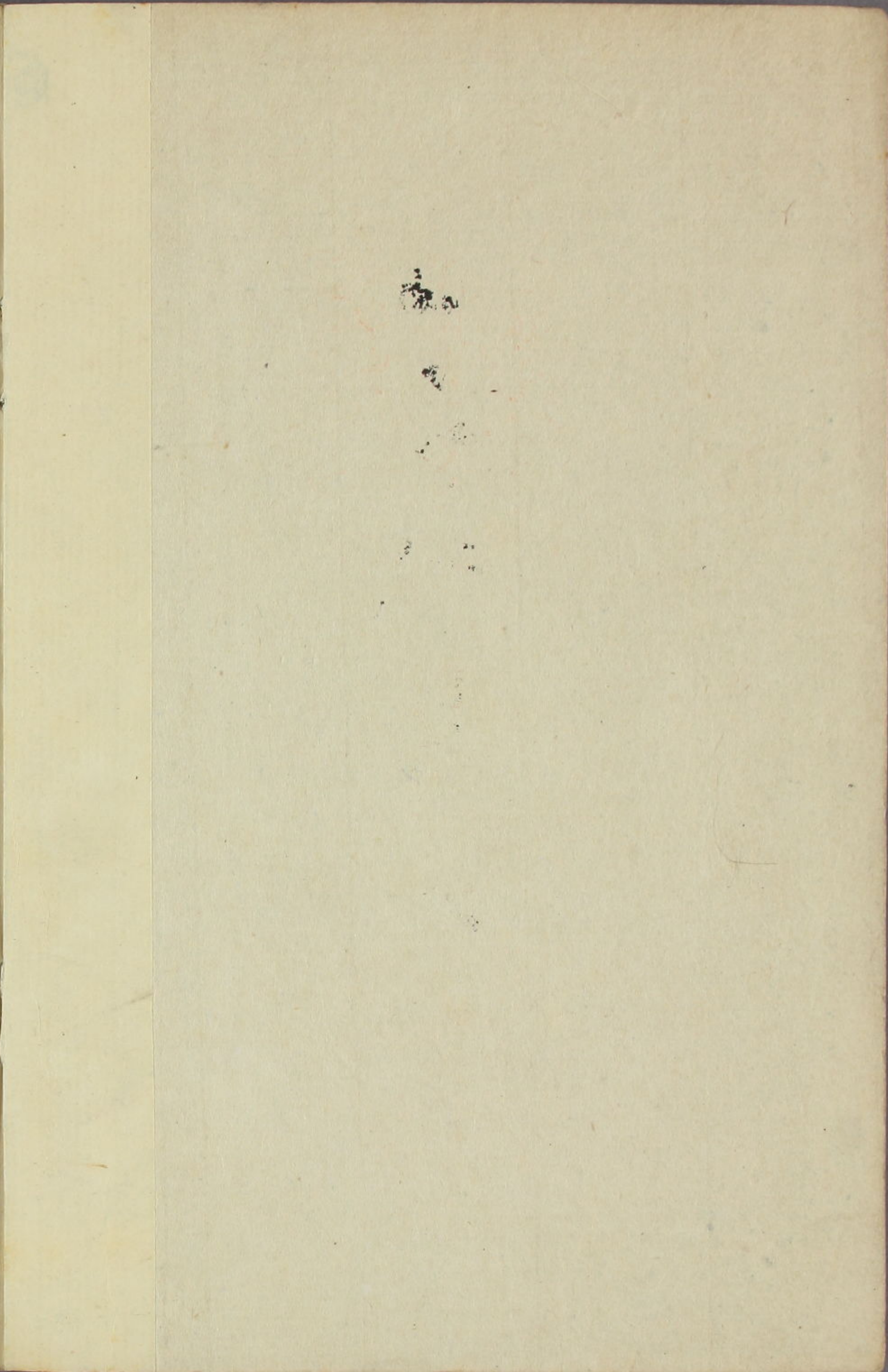




0281 0181



十  
城  
於  
法







不律庵 談屑

(一) 溫古堂の遺蹟

此頃温保已一の百年祭が催されたが、其結果として子孫や關係者が相謀り形ばかりの遺蹟を保存する爲め、故人の菩提寺たる四谷寺町の愛染院の中に温古堂と云ふ様な小さな建築物を造る計畫を立てたと云ふ事であるが、實に結構な事である。温の事蹟に就ては今更述べる必要はないが、温の元の住居、即ち温古堂の所在地は番町の井伊掃部守の向ひ側にあつたもので、其一部分には五十嵐其藏君が住居した事もあり今日に於ても多分五十嵐君の所有となつて居るであらう。曾て自分も屢々尋ね行き、其各室を觀た事もあるが、如何にも舊の儘の極めて質朴なる、江戸名所の一たる庭の櫻の古木に、寂しげに花を着けたるなど、感興をまよもよもよ多かつた。斯る偉人の遺蹟が火

雙魚堂主人談

災を免かれて存して居るのは頗る紀念とすべきもので、何人の所有であつても喜ばしい事だ。全体温古堂の所在地は可なり手廣く、五十嵐君の隣家の一二軒も矢張り其跡で、今の持主の誰かは分らぬが、曾て辯護士の卜部喜太郎といふ人が住まつて居た處が丁度土藏の處であつた。藏は今なくなつた。兎に角現在の三四軒の規模であつたらしい。其中に群書類從の編輯所も和學講演所もあつたものであらう。如此文學上に極めて由緒の深い處であるのに、兎角知らずに通過する者の多いは遺憾の事である。當時温の居る番町に在る處から「番町で目明さ盲目に物を問ひ」と云ふ川柳さへあつたが、全く堂々たる學者が此の盲人の温の門に趨つて教を請ふたるものであつた。水戸の修史に當て居る人々、または昌平黌の學徒等日々之れを訪問し、温の居る所謂時の學問の府と云ふべき有様であつて、此川柳ある偶然にあらずである。尙前に云つた温の菩提所たる愛染院には温の墓があるが、之れがまた今日意外にも參詣者多



不律庵 談屑

(二) 馬琴と盲生

雙魚堂主人談  
 本堂文

く、殆んど二六時中香華の絶え間なく、之れが幾千か寺の財源となつて居る位である。仔細を聞いて見ると彼の天満宮が文學の神として崇敬せらるゝが如く、親達が其愛兒の學問上達の祈願の爲め、之を引き連れて温の墓へ參拜するので、百年の後猶ほ測らざる學問の譽れは此に顯れて居る。若し此處に温古堂にても建てられ散佚した温の遺物や書牘でも集めて置かれたら、一層人の感興を惹く場所となるであらう。惜むべきは、温の子孫は追々没落して、當時幾萬を數へし温古堂の藏書も何等遺る處なく、家に存するは僅かに温の遺像あるのみだと云ふ事である。

昭和十六年十月五日  
 市島謙吉氏贈



1910

▲驅逐艦沈没 伊國の艦隊

▲土國 伊國の艦隊

▲伊國の艦隊

▲伊國の艦隊

▲米國の中立聲明 米國

▲伊國人の退讓 倫敦茶會

▲伊國人の退讓 倫敦茶會

▲伊國人の退讓 倫敦茶會

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

伊國の艦隊

南滿・里道一調査

臨時縣會開く

臨時縣會開く



近來岡田の腹式呼吸法と言ふものが盛ん  
 に行はれて、吾輩の同人の間にも行つて  
 居る者が多いが、要するに座禪の法を基  
 とし、正座して深呼吸をやること云々様な  
 ものである。之れが相當に効果のある事  
 は、現に實際行つて居る人々に、色々な  
 兆候が顯はれて來て居るとも証明され



(四) 聖上の御攝生

雙魚堂主人談

が多い。  
 陛下が日夕大政を辯はせられ、絶えて御  
 保養の思召より行幸等遊はされたる事な  
 きにも拘はらず、玉體御健全に渡らせら  
 るとは、素より御體格の御勝れさせらる  
 と爲めなるも、亦此正座と起立の御運動  
 に依る義と恐察すると云ふ事であつた。

が多い。  
 陛下が日夕大政を辯はせられ、絶えて御  
 保養の思召より行幸等遊はされたる事な  
 きにも拘はらず、玉體御健全に渡らせら  
 るとは、素より御體格の御勝れさせらる  
 と爲めなるも、亦此正座と起立の御運動  
 に依る義と恐察すると云ふ事であつた。

る様である。此宮中に奉仕する或る人  
 と色々談り合ふた時に、恐れ多き事なが  
 ら陛下の御平生、特に御攝生の御事に  
 及むた、仄に承はる處に依れば、陛下  
 が御座所に御出の時、必らず日本流  
 に御正座遊ばされ、其間は嚴然肅然とし  
 て御出に相成り、聊かにも玉體を御頷  
 し相成るが如きではない。斯くして暫ら  
 くの後には御起立になり、今度は御座所  
 の中を御運動遊ばされ、一日の中三分の  
 一か二は此御運動であるから、近く奉仕  
 する人々が御座所に於て何か言上する時  
 などには、御起立の儘にて御説のある事



不談律庵

早稲田...





不談 庵 律 不 屑

雙魚堂主人談

(七) 造造の舞踊劇 (上)

坪内博士が演劇の刷新を以て任じて居るの隠れもない事、今更言ふ迄もない過去二十有餘年の研鑽を積んで今や之れを實地に試みんとする場台、公然之れを帝國劇壇及關西の舞臺に演じて喝采を博した事も世の知る處である。博士は是等公演の他私演を催す爲めに、幾んど六百人を容るとに足る舞臺を建築せんとて久しく經營中であつたが、先頃愈々落成したと云ふので其の舞臺開きを兼ねて私演を催し是又非常の喝采を博した。其番組の中には博士が近頃作られた二つの舞踊劇があつて、今度初めて演ぜられた。此舞踊劇は博士苦心の存するもので、且つ大に得意とする所のものである。此新作の成つた時分、自分は關西に旅行中であつたが、博士は特に左の書を寄せられた

年も前の風俗を取り込むだもの其の儘に振付けた舞踊であるから、今日に於て意味の理解出来ぬ事の澤山なるのは無理もない事、之れを五儘將來に繼續する事は面白くない、強て繼續するも自然に消滅して仕舞ふ。元來今の人々が古い舞踊を見て興味を感ずるのは、決して其意味を理解しての事ではない、其動作の或部分が優美だとか婀娜だとか、しなやかだとか云ふ處を觀賞するので、言はば一和の習性から成て居るに過ぎない。之れをして將來西洋の歌劇の如く長く維持せんとせば、須らく其内容を改め時勢に適合する處を削りなければならぬ、卑猥の部分も全除去し、意味の透徹も計らなければならぬ。然かも如此の改意は頗る困難なる事、つまり餘程手腕のある人物を要するものである。一体舞踊に通ずるとか長唄を作るとか云ふ人々の多くは、兎角に學問なく人格卑きもので、また文藝の方面より出でたる人々は、新式の學問識見を有して居るが、之れはまた自から作れぬと云ふ譯で、二つを兼

造造の舞踊劇 (下)

ねると云ふ事は仲々六ヶ敷しい。そこへ行くと坪内博士の如きは殆んど理想的の人物で、幸ひに博士の奮發に依つて之れが改善の端緒を開いたと云ふ事は日本の歌劇、舞踊劇の爲めに祝すべきの至りである。殊に今度の寒山拾得、あ七、あ三の如きは博士が長歌や舞踊は何うにも出来たものであると云ふ一例を示す爲めに、態と古詩の筆意を發揮すると云ふが如き破天荒の材料を撰ばれたにも拘はらず、非常の成功を以て實地に演ぜられたと云ふ事は頗る多とすべき事である。

(八) 造造の舞踊劇 (下)

雙魚堂主人談

試みに實地私演を參觀した情景を述べて見やう。先づ雪舟の寒山拾得は、例の雪舟流の雄勁奇拔の筆法を以て松樹や巖石を描いた大幅が舞臺の中央にかけられ、其大幅に二僧が凭つて居る處にて幕があいた。遠く之れを望めば全くの活人畫で、其の二僧たる活人は眞に畫幅中のものと化して居る。斯くて「棲遯粵に寒廬に居

段々御盡力雖有奉在候建興も此十三日頃建興の嘗に映所式用を練れ、新日本五月號例の舞劇劇本として急に三種の新作を試み候。これは何れも古美術の筆意を其儘に師に任じ、趣向一は雪舟の寒山拾得他は師宣のお七、あ三、あ七の鐘聲、達摩の美人と云ふ段取是非これは大凡に褒めて貰らひ度と存候大々的骨董美を發揮したるものにて小規模ながら破天荒の意匠の積りに候。而して此書にもある如く新作は三種であるが、此中雪舟の寒山拾得、師宣のお七、あ三だけ今回場に登したので、之は如何にも破天荒のもの云ひ得るのである。全体坪内君の説では、日本の舞踊と云ふものは世界に於て類例のない一種のもので、全く國有の特長を有して居るものである、従つて無論此特長は將來に傳ふべきものである。乍併、今日現存する舞踊の多くは元祿頃の泰平無事の時、狹斜の地から起つたもので、花柳の巷の事を主題としたものが十に八九である。従つて随分淫猥の分子を含み、其他の歌も卑猥の文字多く、且つ徒らに音調の可なる言葉のみを連続することに努めたる結果、殆んど何を言つて居るか筋の透徹せぬものが多い。斯様な下らぬ歌と百年も二百

早稲田大學圖書部



の差に止まらずで、長唄も舞踊も斯くてこそ初めて意味を有し鑑賞に値するものである。世間の没曉漢等は、長唄とか舞踊とか云へば、多く花柳界の事や淫靡の風を加味せざれば何等趣きを爲さざるかの如く信じて居たのに、坪内博士の新作が斯の如き成功を以て實際に演ぜられたるを見たならば、大に覺る處があらうと思ふ。要するに其作者の手腕に存するもので、吾輩は重ねて我邦劇界の前途の爲めに祝するものである。序に坪内博士は早稻田大學の先輩教授で、博士這回の發展に就ては大分早稻田大學後援の力もあるので、學校が演劇の盡力でもあるまいと云ふ様な頑迷者流もあるかも知れないが、それは實に誤解の甚しいものである。一体西洋諸國に於ては、演劇は文藝の頂點だと云ふ事で、整頓したる大學には大演舞臺があつて、其所で研究されつゝある牛津にもハーバードにもあつて、歐洲大陸の大達者とも言はると名ある俳優は、學窓時代には多く此舞臺に於て研究したものだそうなの。我邦に於ては名あ

る學者が斯様の事に關はると非常に訝るべきであるが、實に愚の至りである。或程彼の文士劇とか云ふ中には、或は道樂生が自家の逸興の爲めに一寸遣つて見る位のものだが、坪内博士の如きは、劇界刷新の目的を達する爲に一生命に遣つて居るので、道樂でも何でも無い、南極探險と同じい意氣込みである。若し早稻田大學に對して兎角の批難を試むるものならば、吾輩は神聖なる日本の藝術の爲めに大に辯じたいと思ふ。且つ外國に於ては斯る演劇は必ず學校計りであるのに、坪内博士の演劇が、公然と劇場に打つて出て、遠慮なき社會の批評を求めた態度の如きは、實に勇氣ある事で、此點に於ては大に外國に對して誇るに足ると思ふ。



(九)

雙魚堂主人談

早稻田大學演劇部



早稲田大學圖書印

早稲田大學圖書印



東洋田大書局

東洋田大書局



早稲田大學圖書部

早稲田大學圖書部  
昭和二十一年九月



早稲田大學圖書印  
早稲田大學圖書印

早稲田大學圖書印



早稲田大學圖書印  
早稲田大學圖書印

早稲田大學圖書印



たる平地に見慣れて居る  
 先づ大体、コンな所に居る越後人は  
 一般的な性格を有するかに云ふに、藩風の  
 薫化が微弱であるから、藩の型が遺つて  
 居らぬ、それに外部の刺激が比較的薄い  
 から、旁々越後人はウブである峻峻の山  
 嶽が土地の廣い、割合に少ないから、奇抜  
 な氣象を缺いて居る、却つて漠々たる水  
 田に緩漫なる大河に似て氣風は穩かで温  
 藉である

地形上將た歴史上から見ると、以上のご  
 とき特徴が大体に認めらるゝが、更らに  
 一步を進め今少しく委しく云へば、越後  
 は九州其他關東關西の如く、文化が早く  
 及んで居らぬ所から、氣風が敦厚である、  
 新潟縣より選出されたる議員の如き、他  
 府縣に比すれば清廉であるが如き、他の  
 原因にもよるだろうが、敦厚の國風にも  
 原因して居る、又越後人は利害の打算に  
 鈍い様である、眼前の事のみ汲々  
 しないからでせう、眼前の事のみ汲  
 々しない者は、却つて永遠の考へがあ

う、わるく云ふと頭腦明快で無いとも云  
 へるが、よく云へば、沈重でコセツカサ  
 度量が廣く、人格大なりとも云はれる、  
 越後人は仕事は遅鈍である云ふ人があ  
 る、併し勤勉であることは同時に、他邦  
 人にも認められて居る、此の勤勉の性は  
 運鈍の質を補ふて餘りありだ、又越後人  
 は摯實である所から、仕事をするに際し  
 なたが無い、他邦人には兎もするに人の  
 見て居る前には勉強するが、人の見て居  
 らぬ所には仕事をスツボカす者が多くあ  
 るが、越後人は人が見て居つても居らな  
 いでも、自分の責任事務を根強く辛抱づ  
 くよく遣る、越後人の成功は多く此の資質  
 に原因するに云ふて差支なからう、越後  
 人の長所短所は荒ツボク云ふと以上の  
 ごときで、大体越後人の性格は、コンな  
 後人の現在を云ふは兎も角も將來をトセ  
 んとするなどは誤りも甚しい云はざる  
 を得ない  
 吾輩を以つて見れば越後人は將來尤も多  
 望であると思ふ、仔細は前にも述べたご  
 とき、種々なる美質を有つて居る其外に  
 人間がうぶで餘りすれて居らぬ、藩風な  
 ぎの型が遺つて居らぬから、純潔無地で  
 ぎんな色にも、ぎんな型にも今後はめる  
 事は出来る、廣大なる國土に生れて、人  
 間が大きく、氣宇が廣く、而かも餘り  
 いやな刺激を受けて居らぬから、隨つて  
 わるすれを免かれて居る、將來に適する  
 大人物は恐らく越後の如き所に出るのであ  
 らうと思ふが或は越後に偏して居るかも  
 知れんけれども越後人たる自分の觀察は  
 先づこんなものである。(完)

早稲田大學圖書館

早稲田大學圖書館

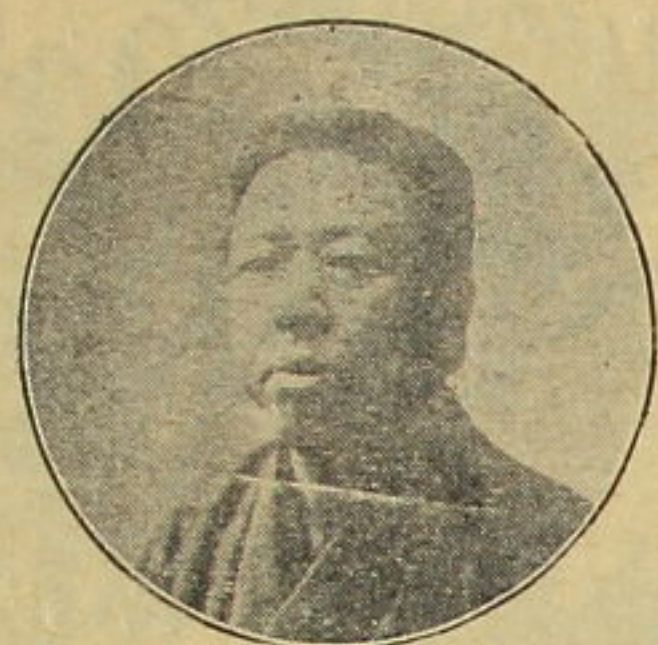


# 越後人の觀越後人

(二)

## 越後人は新時代の最適者

早稲田大學 市島 謙吉  
圖書館長



且つ正鵠を得るに庶幾いと思ふ、併し折角のお需めであるからザツト試みよう

越後は上中下と地形によつて普通別たれて居る、隨つて性格も幾許か違つて居る、例へば上越後は、信州に地境を接して居るから、氣風性格も信州人に似た所がある、中越は上越人よりも、幾許違ふと同じく下越人とも違ふ所がある、今上中下に分つて、一々言ふ違かない、ことには唯越後人が通有する性格を少しばかり言ふに過ぎぬ

越後人は之れに庶幾しと思はる、越後人は發揮力が乏しい様である、九州あたりの人は胸に十の蘊蓄があるに、九分迄發揮する、場合に依ると胸間に無いものまでも、發揮するから大へんエラそうに見へるが越後人は其の十が五までも、發揮しない、故に一寸見ると其人愚なるか如くであるがよく見ると、奥床しい所がある、越後人は事に當つてハキ／＼しない云ふものがある、成る程不得要領の氣味がある、神經質で無いからであら

様に思ふが、都會の人は動もすると越後人はアバラ骨が足らぬなご云ふて能力が缺乏して居るかの如く思ふものもある、コレなどは大なる間違ひであることは辯する迄も無い、現に理學の内々重に至難となつて居る醫科に、最も成功して居る人は越後人であるが事實に徴して見ても能力に勝れた所のある事が分明である、唯だ越後人は政治の舞臺に餘り成功して居らぬ(勿論幾許除外例はあれど)これを目して、越後人の能力を速了するものもあるが、政治上の事はテト別に考へなければならぬ、ナンにしても藩閥の世の中である、越後の如き間に、全く縁因の無い者が、頭角をあらはし得ない云ふも、實は無理のない、此の一事を以つて、越

近かく封建時代の越後を見るに、小藩分立して一般の氣風を、作成する程の勢力ある雄藩は一つも無い、故に越後人の氣

高

佳



早稲田大學圖書館







早稲田大學圖書印

早稲田大學圖書印  
早稲田大學圖書印



早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...  
早稲田大...

多  
も  
利  
便  
方  
法  
の  
救  
済  
の  
為  
に  
御  
願  
申  
上  
候

下  
座  
此  
段  
伏  
て  
御  
願  
申  
上  
候

敬白

神山村大字村岡第貳拾壹番戸

北蒲瓦業販賣購買組合事務所

新發田町字上町

同 新發田販賣所

組合長  
販賣主任

本間春藏

外組合員十九名

並  
ゴ  
ム

應春堂

恭賀新年

薪炭販

福

恭賀新

新發田新

時丸

早稲田大...







後の世の勢、豊配利益に便法方低員入社者種加は本社  
 風流の名親きかせ、大げけの猫に安賭や嫁か君同  
 紅血に鼻うめにも似て君か春同  
 天の岩戸開くにも似て君か春同  
 一門のよく榮ねて君か春同  
 足跡を梅かども見て嫁か君同  
 君か春宮も、藁家も煙り哉同  
 双六にのぼる道中や君か春同  
 君か春管絃の棋に隣り住む同  
 君か春昔あがらの一つの家同  
 米搗きも村の一人や君か春同  
 不老不死の薬を煉るや君か春同  
 神の、灯に忍姿や嫁か君同  
 左舷の詩右舷の歌や君か春同  
 君か春鶴舞ひ降る御料林同  
 鶏叫ひに衣桁の陰や嫁か君同  
 村一番戸の二代参議や君か春同  
 嫁か君の嫉妬化粧の間のみだれ同

皇子と皇族



小松宮妃殿下

鐵道開通の暁には新發田地方が交通の便利  
 の爲め享くる所の利益の大あるべきは無論  
 の事であるが、さて此の便利を如何に利用  
 すべきかが問題である。長岡市の爲すに倣  
 るもの、緊揮自重すべき點である。

鐵道開通と新發田

早稲田大學 市嶋謙吉

由來越後の國が米國たるの名を專にするは  
 北蒲原あるが爲めである云つても過言で  
 はあるまい、加治川米の聲價は越後米の表  
 看板ではあるまいか。而して新發田町は藩  
 政の昔から今日に至るまで北蒲原の首腦た  
 ることは言ふまでもある。して見れば米國  
 たる越後にありて最も繁盛する處はと言は  
 ば新發田であるべき筈である。然るに新潟  
 市は港灣舟楫の便あれば格別として長岡  
 高田共に市制を布かいたる今日新發田は尙  
 は依然舊態を存して動もすれば形勢不振の  
 譏りを免かれざらんとするものあるは抑も  
 如何ある理由であるであらうか、これには  
 種々の原因があるには相違をけれども、思  
 ふに其の主たる原因は長岡は越後の中央に  
 位して商業上最も形勝の地位を占めたるが  
 上に近年石油事業の勃興の爲め頓に振興の  
 勢を招致したるものあるべく、而して近頃  
 高田の生氣は師團設置によりてこれが營養  
 の素を攝取したるものあるべきは言ふまで  
 もあき事である。然らば新發田は如何、縣  
 下にあつては最も早く聯隊を置かれたる處  
 ありしにも拘はらず、爾後是れぞと云ふ發  
 展を見ざりしは長岡の形勝亦く又高田の地  
 勢を有せざればあるべし。然るに近く十ヶ

南陸輸穀下越之急務

為新發田新聞社 吉田東伍

遂行せられんとを望む次第である。第二、地主小作との間を緩和疏通して地方の増進を以て計り收穫の増加を圖るべきこと。元來地主と小作との間に意志の疏通を

皇子と皇族



竹田宮妃殿下

小作は横着を構へて作得米の收納にツルを極め様とせる様では農業上由々しき大事であつて、爲めに地方は荒廢し收穫は年々減退するに至り惹いては農業の衰頹をも來す

既に養蠶も大に着手するも、氏の果物栽培の程にありたるの如きは舊として近頃でに至りたる程に果物の栽培に農業の副業の色を發揮する色を發揮する色を發揮する



小松宮妃殿下

るもの緊縮自頂すべき點である。説いて茲に至れば農産地を以て自ら任じ其の本領を發揮して地方の隆盛發展を圖ること如何といふ問題にあるが、これを解決することは新發田地方人士の腦底夙く既に方針の定まるものがあらうが、試みに一二其の大綱を言はんに。

第一、耕地整理の事である。此事の必要は北蒲原地方地主の既に認むる所であつて着手したる處も尠なく、此の事であるが、鐵道開けて交通の便益益盛んからんとする際、尙ほ一層の努力奮勵を以て、此の事の爲すに倣

# 輸穀下 急務

新聞社 吉田東伍

高田市の遂行せられんとを望む次第である。第二、地主小作との間を緩和して地方の増進を以て計り收穫の増加を圖るべきこと。元來地主と小作との間に意志の疏通を

子年と皇族



竹田宮妃殿下

て、國家の事業の減少に歸するに至り惹いては農業の衰頽をも來す

ふ、味ふべき舊來の温き氣風は近來著るしく廢れて地主小作の間冷かざる權利義務の念是れ盛んにしてその權利義務の念も惜いかな生嚼みの半可通であらから、己れの權利を主張せんと共に他の權利をも尊重してこれに對する義務の遂行を急とせず。動もすれば已れの權利は曲けても主張しやう他の權利の主張に對する義務は隙にあらばこれが遂行を怠らうといふ様ある憐れ果敢なき有様は、これ近來一般の通患あるが北蒲原地方に於いても地主小作の間兎角圓滿を欠きて誅求遁脱に鎬を削る有様あることも敢て珍らしからざることありとは屢々聞く所あれば何として此の弊風を除いて地主小作の意志を疏通せしめ、小作を寛大に取扱ふは地主自らを利益せる所以にして地主に厚く事ふるは小作自らを利益する所以の道あることを覺らしめ、次て兩者の間を緩和し共に俱に地方の増進を計りて收穫の増加する様に努め、將に來らんとする鐵道開通の時期に應ずること致したいものである。

第三、農業の副業として養蠶を盛んにし又園藝を起して果物の栽培を盛んにすること農業に繁閑の時期あることは言ふまでもあることであるが、其の閑時節に相當の仕事を見出してこれが副業とあすことは農家收利の薄きを補ひ、又水旱の災厄を幾分和ゆることを得る道にて賢き經營と云ふべきである、然るに幸にも新發田地方に於いては既に養蠶も大分行はれ、園藝も近頃これに着手するもの追々盛んにあり、現に白勢氏の果物栽培は多少世間に其の名を知らるる程にありたるものもあり、且つ木崎の梨果の如きは舊來より其の地方一種の特産物として近頃では東京にも其の名を知らるに至りたる程あれば、是等其の地味に適する果物の栽培に力を致し又養蠶を盛んにして農業の副業とせば新發田地方農産地の特色を發揮するに於いて頗る有力なる事業であらうと思ふ。

ちある通弊である。されば鐵道の通ずる所工場が煙突より先きに旗亭酒樓の巍然たるを見、流笛を聞かざるに夙く絃歌の聲を聞くに至るといふことは吾人の常に目撃する所である。であるから鐵道の通ずる所に於て若し格別の工業も起らず、又商業の中心たるを得ざるの地方あるときは徒らに其の地方醇朴の風を攪亂せらるゝのみであつて何等得る所なきに終る不幸を見るに至ることも決して珍らしからぬことである。新發田地方の如きも差當り大工業の起る形勢もあく、又鐵軌の開通によりて一躍商業の中



子年と皇族



文曰如烹小鮮  
做逼邊體  
明治壬子一月元  
巨於新發田客次  
廣陵香石  
内藤孟











五錢五厘(割引割)拂込所は東京一八六六八番小池則之宛のこと

早稲田大學 圖書館長 市島謙吉氏談

### 其五 建設すべき女子教育の一方面

女子の高等教育は、日本では官立の學校が一つもない。官立、公立の高等程度の學校には、女子は入學を許されぬ。只女子大學、女子英學塾の如き私立の女學校が數校あるのみで、比較的程度の高い教育を施して居るに止まる。然しこれ等の學校も一部は中等教員を養成するのである。

### 其六 結論

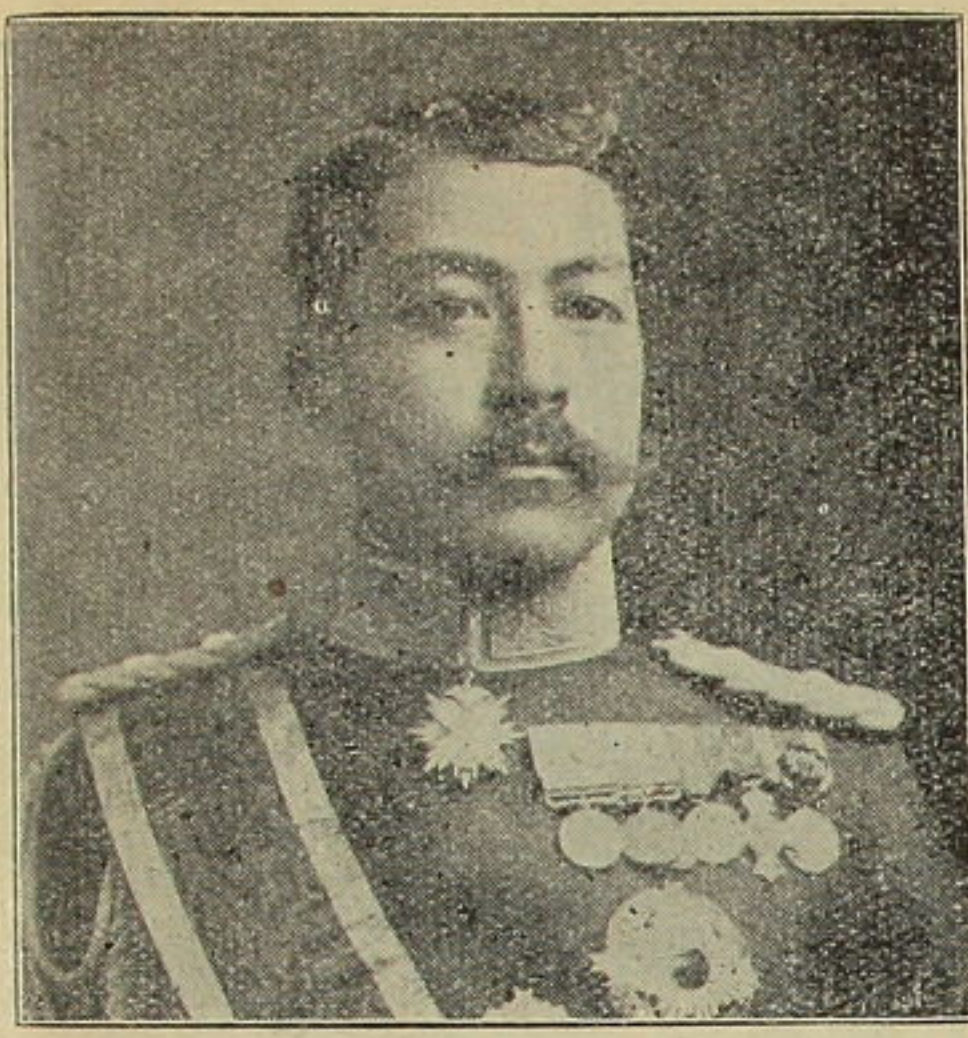
要するに明治時代に於ける女子教育の發達は、明治天皇の御代に於て、種々なる御偉業のある中の最も大なるもの、一つである。他の方面に於ての教育上の發達は、種々の人が筆を執り、若しくは、御話をす

## 明治の私學(民間教育)

早稲田大學 圖書館長 市島謙吉氏談

### 其二 文明と私學

斯様な苦しい間に發達したる私學が、明治天皇の御代に於て、明治天皇の御事業をどれ丈助けて居るか云へば、これは決しの鮮少なるものでない。丁度、明治天皇の御誕生あ



### 最近の女子教育

戦争があつてから、日本た爲め益多く女學校の設至つた。明治四十年に高が改正せられて、從來は年を本體とし、之に一年ことを得と規定してあつケ年を延長することを得即ち三ヶ年程度の學校は、四年と五年のもの丈に、女子中等教育の一進歩日は五年程度の高等女學大阪、京都等の大都市に

るから、職業教育の性質をも有して居る。此方面に於ける今後の進歩が女子が官立の帝國大學にも入學が出来るようになり、其準備に高等女學校以上の學校が設けらるゝようになつてあらう。これも大正時代に遺されたる事業で、殆んど之は新たに始めると云つてもよい。女子の職業教育は、女子の中等教員を養成する女子高等師範を筆頭に各府縣の女

あるのを初めとして、裁縫、手藝、美術、醫學、看護婦、産婆其他種々の女子の職業學校があつて、此の方面の進歩發達は中々著しいものであつた。然し今後は益々女子職業の範圍も擴張せらるゝから、學校の種類も多くなり生徒も多くなること、思ふ

育の進歩は、之を前代に較ぶれば殆んど比較にならぬ進歩であつた。然し尙一般婦人の思想は甚だ幼稚で、眞の文明國の婦人としての頭が未だ出來てゐないし、女子の手に待つべき社會的事業も多くあるが、これ等の事業は未だ出來て居らぬ。これも日本の富の増加と婦人の教育及手腕の進歩と共に、今後大いに盛んにならぬのである。



に候條可相成各自御計算の上御支拂可被下候代金の儀は下記の通に御座候  
一部五錢五厘(割引割)拂込所は東京一八六六八番小池則之宛のこと

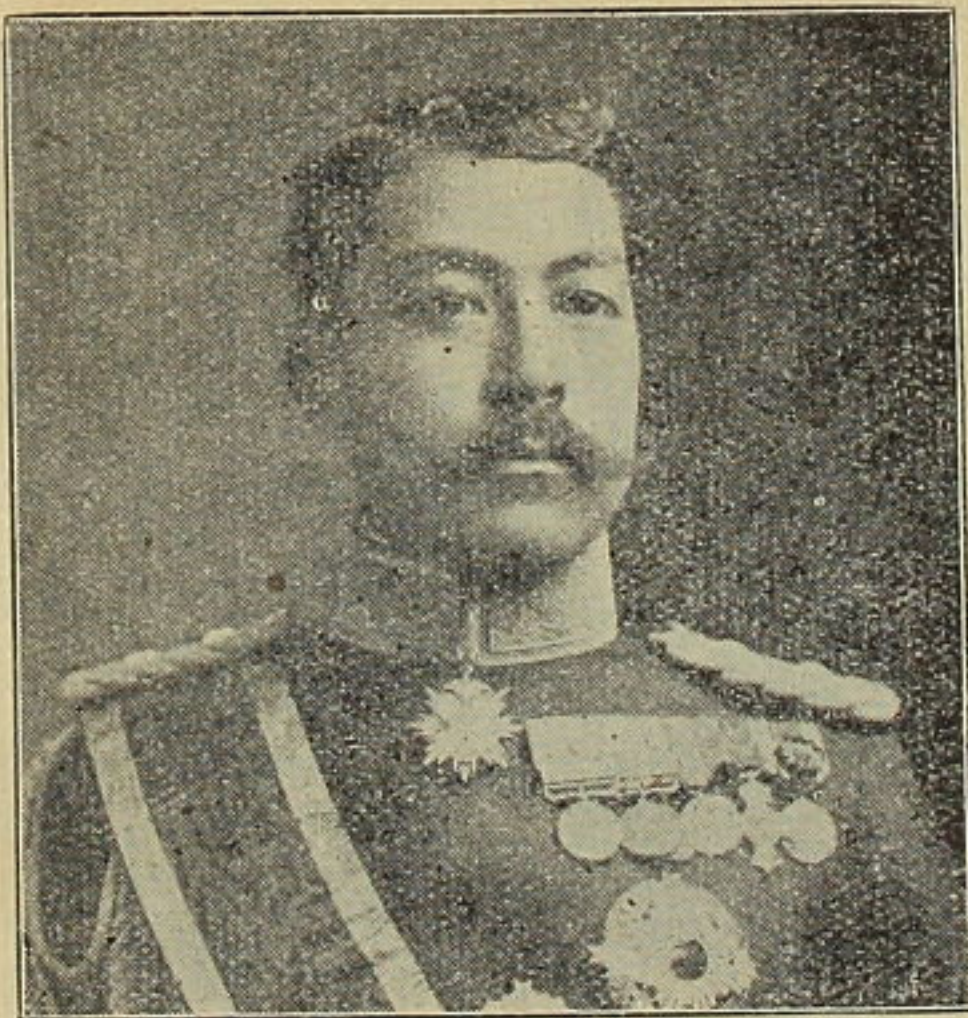
其後日露の戦争があつてから、日本の勝利を得た爲め益多く女學校の設立を見るに至つた。明治四十年に高等女學校令が改正せられて、從來は修業年限四年を本體とし、之に一年を伸縮することを得と規定してあつたのが、一ヶ年を延長することを得となつた。即ち三ヶ年程度の學校はなくなつて、四年と五年のものになつたのは、女子中等教育の一進歩である。今日は五年程度の高等女學校は東京、大阪、京都等の大都市に主としてあるのみで、其大多數は四年である。之も今後の進歩は四年が少なくなつて、五年が多くなり遂には五年のもののみになるかも知れぬ。之も大正の御代に遺されたる教育上の一事業である。

#### 其四 最近の女子教育

最近の調査によると、高等女學校の数は百九十三校で、教員が男子千二百四十五名、女子千六百五十二人、生徒の数が本科補習科等を合して五萬六千三百三十五人である。これも維新前とは全く比較にならぬ。又明治初年に比べても非常なる進歩である。尙昨年より二年乃至四年の實科高等女學校が設立せらるゝに至り、今日では既に凡そ百校ある。これは家政に關する學科に重きを置き、殊に裁縫に一番多くの時間が與へられてある。

#### 其五 建設すべき女子教育の一方面

女子の高等教育は、日本では官立の學校が一つもない。官立、公立の高等程度の學校には、女子は入學を許されぬ。只女子大學、女子英學塾の如き私立の女學校が數校あるのみで、比較的程度の高い教育を施して居るに止まる。然しこれ等の學校も一部は中等教員を養成するのである。  
天皇陛下御名代閣院宮載仁親王殿下



るから、職業教育の性質をも有して居る。此方面に於ける今後の進歩が女子が官立の帝國大學にも入學が出来るようになり、其準備に高等女學校以上の學校が設けらるゝようになることであらう。これも大正時代に遺されたる事業で、殆んど之は新たに始めると云つてもよい。女子の職業教育は、女子の中等教員を養成する女子高等師範を筆頭に各府縣の女子師範學校、師範學校女子部などが

#### 其六 結論

要するに明治時代に於ける女子教育

### 明治の私學

早稻田大學 圖書館長

#### 其 一 政府の壓迫

教育の發達は、明治天皇の御代に於て、種々なる御偉業のある中の最も大なるもの、一つである。他の方面に於ける教育上の發達は、種々の人が筆を執り、若しくは、御話をするであらうが、どうかすると忘れられ、或は重きを置かれぬ趣きがあるのは、私立學校の發達と云ふ問題である。この私立學校の發達と云ふとに就ては明治天皇の御時代に於ては、教育史上に於て、決して漏すべからざる大切なことであると思ふ。他の教育を例へて云へば、室咲きの花のようなものであつて、私學は風雪の間に満開したる花とも云ふべきものである。他の教育事業は、政府か或は府縣市町村の力によりて豊か

明治の私學 市島謙吉氏談

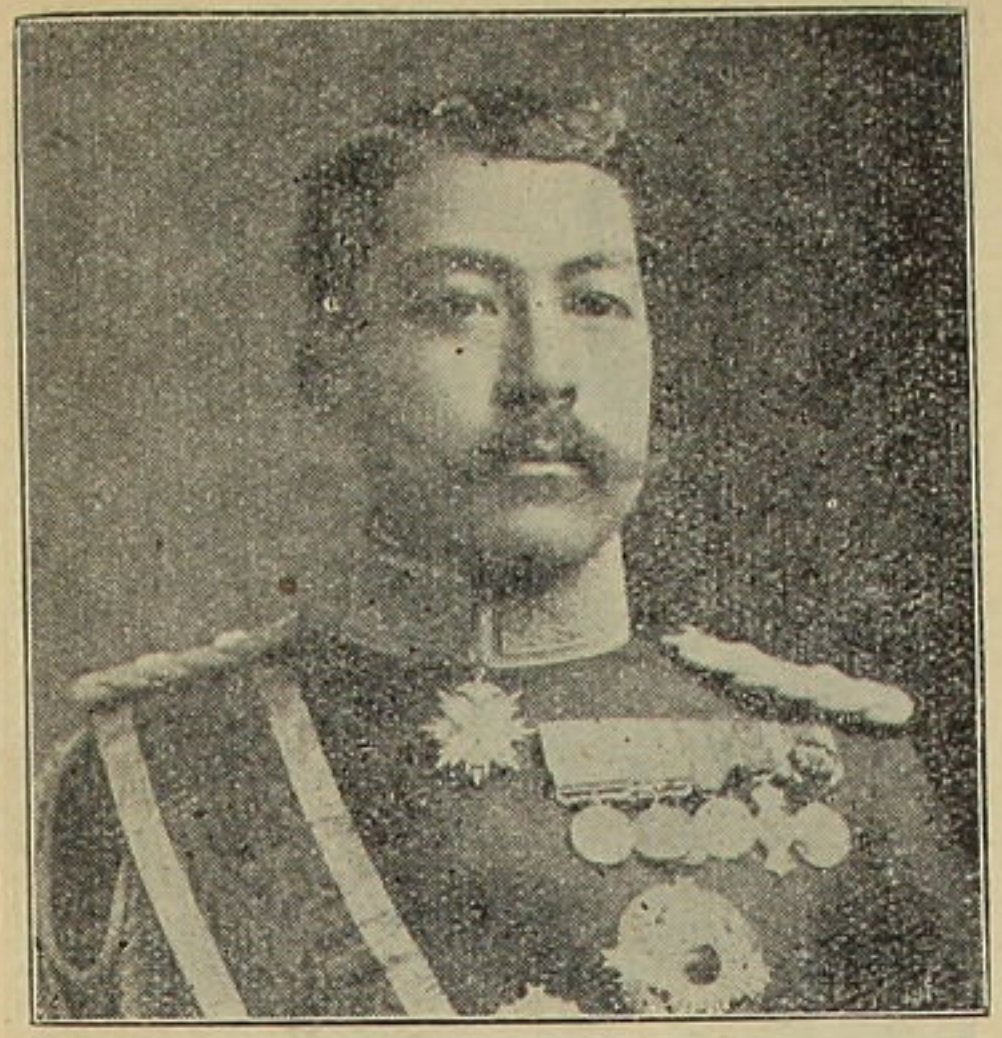


鼻の上御支拂ひ可被下候代金の儀は下記の通に御座候  
拂込所は東京一八六六八番小池則之宛のこと

### 其五 建設すべき女子教育の一方面

女子の高等教育は、日本では官公立の學校が一つもない。官立、公立の高等程度の學校には、女子は入學を許されぬ。只女子大學、女子英學塾の如き私立の女學校が數校あるのみで、比較的程度の高い教育を施して居るに止まる。然しこれ等の學校も一部は中等教員を養成するのである

天皇陛下御名代閑院宮載仁親王殿下



るから、職業教育の性質をも有して居る。此方面に於ける今後の進歩が女子が官立の帝國大學にも入學が出来るようになり、其準備に高等女學校以上の學校が設けらるゝようになることであらう。これも大正時代に遺されたる事業で、殆んど之は新たに始めると云つてもよい。女子の職業教育は、女子の中等教員を養成する女子高等師範を筆頭に各府縣の女子師範學校、師範學校女子部などが

あるのを初めとして、裁縫、手藝、美術、醫學、看護婦、産婆其他種々の女子の職業學校があつて、此の方面の進歩發達は中々著しいものであつた。然し今後は益々女子職業の範圍も擴張せらるゝから、學校の種類も多くなり生徒も多くなることと思ふ

### 其六 結論

要するに明治時代に於ける女子教育

## 明治の私學

早稻田大學 圖書館長 市島謙吉氏談

### 其一 政府の壓迫

教育の發達は、明治天皇の御代に於て、種々なる御偉業のある中の最も大なるもの、一つである。他の方面に就ての教育上の發達は、種々の人が筆を執り、若しくは、御話をするであらうが、どうかすると忘れられ、或は重きを置かれぬ趣きがあるのは、私立學校の發達と云ふ問題である。この私立學校の發達と云ふことに就ては明治天皇の御時代に於ては、教育史上に於て、決して漏すべからざる大切なことであると思ふ。他の教育を例へて云へば、室咲きの花のようなものであつて、私學は風雪の間に満開したる花とも云ふべきものである。他の教育事業は、政府か或は府縣市町村の力によりて豊か

育の進歩は、之を前代に較ぶれば殆んど比較にならぬ進歩であつた。然し尙一般婦人の思想は甚だ幼稚で、眞の文明國の婦人としての頭が未だ出来てゐないし、女子の手に待つべき社會的事業も多くあるが、これ等の事業は未だ出来て居らぬ。これも日本の富の増加と婦人の教育及手腕の進歩と共に、今後大いに盛んにならぬのである。

なる發達をしたものであるが獨り私學に至つては、保護される所ではない、非常に苦しい經歷を積んで、何れかと云へば、政府より壓迫の下に發達したのである。

### 其二 文明と私學

斯様な苦しい間に發達したる私學が、明治天皇の御代に於て、明治天皇の御事業をどれ丈助けて居るか云へば、これは決しの鮮少なるものでない。丁度、明治天皇の御誕生あらせられた頃、彼のペルリが軍艦を卒んで日本の關門を叩いた時は、即ち今日の文明の東漸する發端とも云ふべき時にして、此頃から私學と云ふものが、先起り初めた、勿論政府に於ても文明を日本に引入れるに就て、官設の學校をそろく計營し



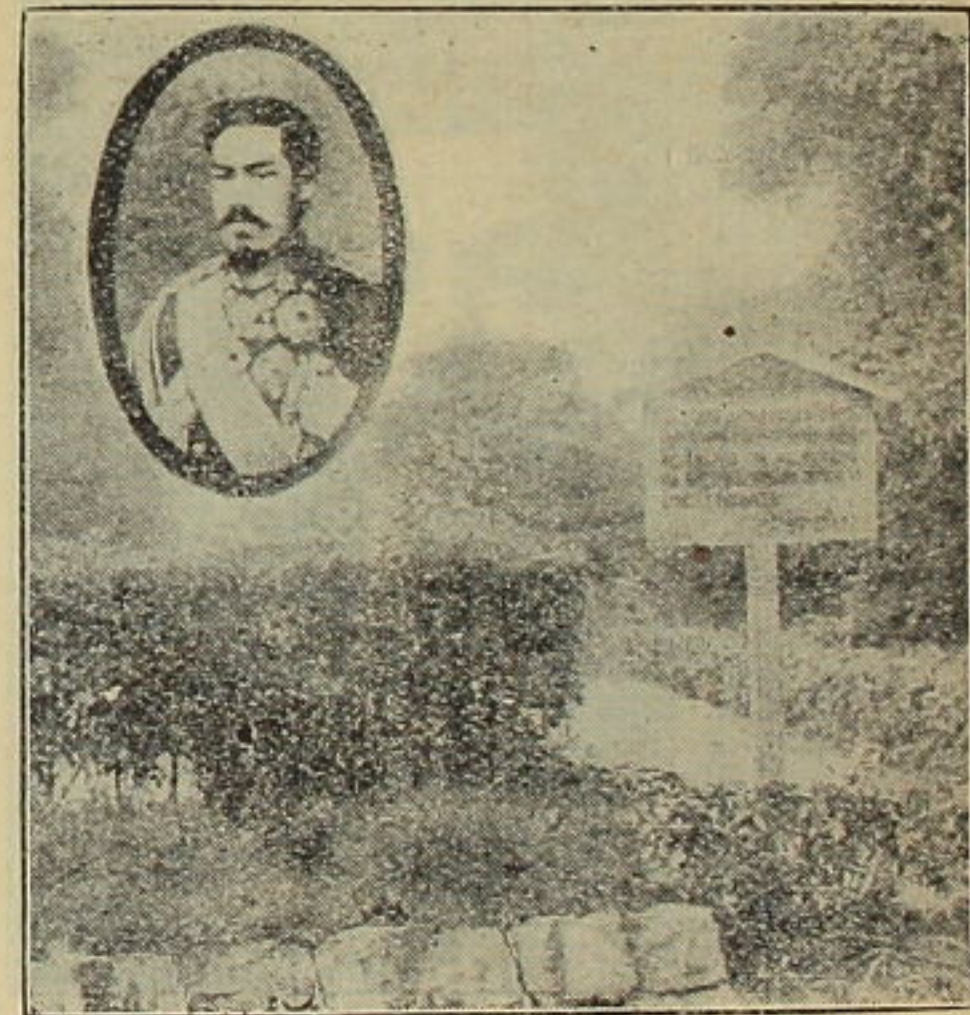
明治の私學 市島謙吉氏談

てゐたには相違ない。然しながらその

其三 濟生學舎

明治の御代になつて政府の學校計

考へると、中々大なるものである。



助けなかつたならば、恐らく新式醫

其四 法律學校

右は醫術に就ての一例を云ふ丈に

過ぎないが、更に法律學の上に就て

於て法律學を多く入學生に教ゆると

其五 探偵學生

更に政治經濟等の學科に就て考ふ

與つて力あると云ふことは誰も、異

其六 時代の要求と私學

私學は如斯大切な務をして居るに



皇后陛下御名代開院宮妃智恵子殿下

發達するものは、政府で御買上げに

益々國家の非常なる機關となつて

るに、この

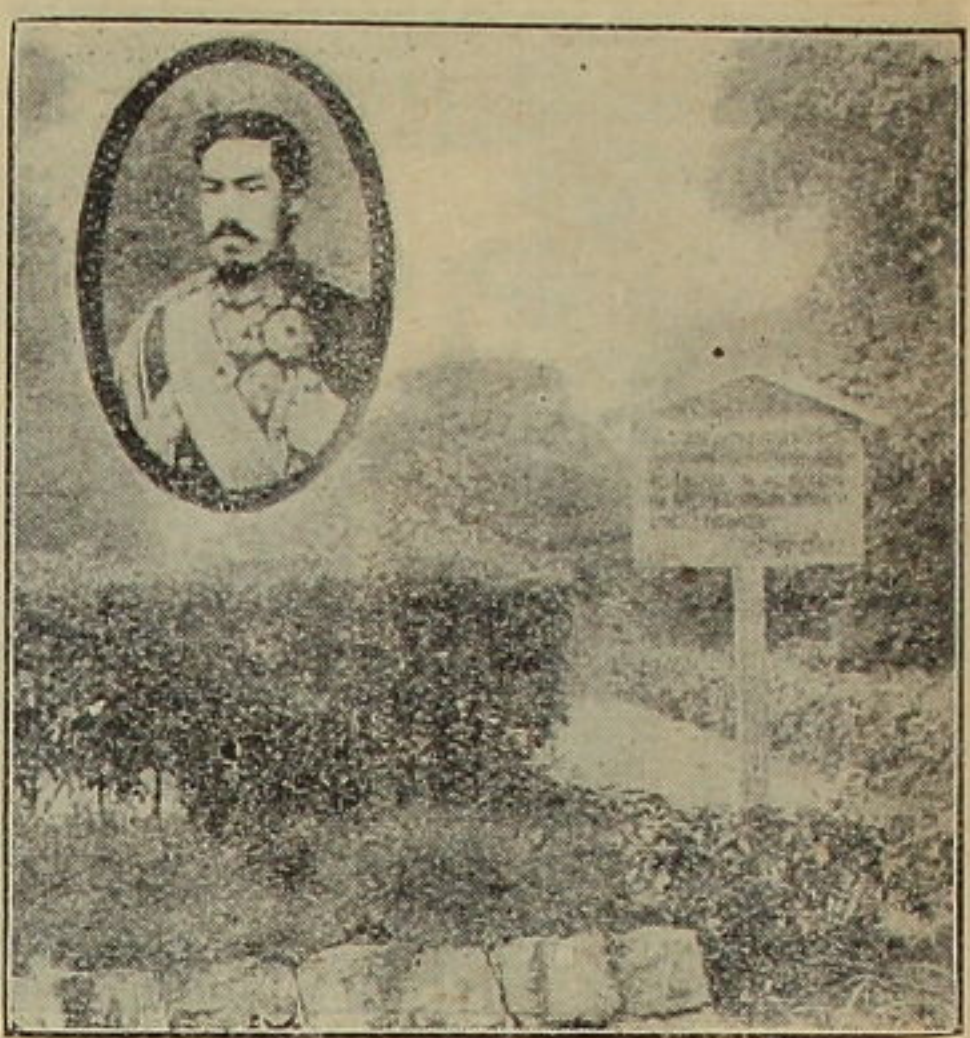


然しながらそのものであつて、國家の爲めたことは、歴史からざること、六十年前福澤翁慶應義塾の前身云ふが如き、或爵邸内に英學の如き、其他横濱校が起つたと云

學舎

て政府の學校計た譯であるが、進んで來たのとは、僅かの紙つぼく云て見る谷川泰氏の濟生

考へると、中々大なるものである。其前後通じて卒業したもの、萬以上ある。これ等の卒業生が全國に散在して、新式の醫術を各地に施した中に日本の醫術と云ふものは、何千年來の所謂根柢の深いものである。いくら政府は醫學校を建てたと云つても、一年に僅の卒業生を出す位のこと、とても全國にたやすく醫術を行ふなどと云ふことは容易の業ではない。若し濟生學舎の如き私學が



助けなかつたならば、恐らく新式醫術の全國に行はると云ふことは、少くとも十年位は後れたであらう。いくら程度が低いと云つても、濟生學舎の卒業生が盛んに地方に開業したことが、非常に長足に醫術を全國に行はしめたのである従て其功は見逃すことは出来ぬ。

其四 法律學校

右は醫術に就ての一例を云ふ丈に

過ぎないが、更に法律學の上に就て私學がどれだけの働をしたかを考へて見るに、明治十四五年頃から、政府の法律政正事業に伴ふて、東京では所謂五大法律學校と云ふものが起つた、(專修學校、明治法律學校、和佛法律學校、法學院、東京專門學校)これ等は皆私立學校である。これ等の私立學校が頻りに私の法律を解釋し、説明し法律の研究が盛んに起つた。勿論政府の設立にかゝる大學に於ても、法律學は古くより設けられて居つたには相違ないが、これは申すまでもなく極く深い高い程度の學科を教授する所で、従て其卒業生も甚だ少數である。もしも私立學校に於て法律學を多く入學生に教ゆると云ふことがなかつたならば、新法律の流布も斯くまで早く行はれなかつたに相違ないと思ふ。所謂五大法律學校の産出した法律の卒業生は萬を以て數へられる位である。かくて全く根柢の異つた法律が發布されてもそれを全國に行ふに就て、少しも不自由を感じなかつた譯である。然しながら、若しも私立學校に於て法律を教ゆることがなかつたならば、明治天皇の最も大なる御偉業の一なる新法律實行も、或は十年位後れたであらうかと思ふはる、次第である。

其五 探偵學生

更に政治經濟等の學科に就て考ふ

るに、これ又私學に於て盛んに行はれた。其結果として、随分やかましい議論が生じて、新國會の議論と相和して、私學方面に於ても盛んに政治論が起つた。これが爲めに政府は甚だ私學を喜ばぬ。それは政策の妨げになると云ふので種々けむたく思つて、動もすれば、陰險なる手段を以て、私學をぶつつぶさうと試みた様なこともあつた。例へば明治法律の如きは、四十二名の學生中に二名の探偵が這入つて居つたと云ふことを以て見ても、如何に政府が私學を迫害して居つたかは窺はれるであらう。これが爲めに私學は非常なる困難をなめたのであるが。然しながら私學が斯様な學科を設けて、數萬の子弟を教授した結果が如何なることになつたかと云へば、一面に於ては當局者の專横を、種々な方面に於て種々なる場合に於て、押へつたことあるに相違なく、又明治天皇の最も大なる御事業の憲法發布、それより前の自治制の發布に就て、非常なる力を與へたることは、争ふべからざる事業である。如何に立派な憲法が制定され發布されても、其の治下に立つ國民が立憲思想がないと云ふようなことでは、折角の憲法も空文に屬する譯である。必ずや憲法が發布さるゝに先ち、少くとも國民に立憲思想の養成がなくてはならぬ。而してこの立憲思想の養成は、私學が

ば、私學は十年も前に今日の如き發達をして居つたであらうと思ふ。これは甚だ残念なことであるが、今更云ふても詮のないことである。兎に角非常なる壓迫の下に私立學校が發達し來り、今日では二、三の有力なる私立學校では、百萬乃至二百萬の財産を有するものすらあるようになった。政府は仕事の何事に拘はらず、民間事業に對しては、初めは非常に壓迫を加へ、壓迫を加へても尙

皇后陛下御名代閑院宮妃智恵子殿下



は政府のなすが

の要求と私學

は政府が非常な

々益々國家の非常なる機關となつて居る。所以は何であるかと云ふと全國に非常に多くの中學校が出來て、今日では殆んど各地争うて中學校を建てると云ふ有様である。其中學と云ふものは、今の制度では大學に入るの準備教育をして居る。然るに天下到る所に準備學校在らざるなしと云状態であるのに、扱て其目的である大學は果して幾何あるかと云へば、僅かに二、三を數へるに外ならぬ。これは極めて、不合理のことであつて、多數の中學卒業生は高等學校に入らんとするも、十中の九分通りは皆跳ねのけられる。其はねのけられるのは、強ち合格せざりしもののみではない、それを收容する丈の設備がないからである。限りある大學で、殆んど限りのない中學卒業生を收容する能はざるは云ふまでもないことである。折角大學入學志望の學生は、今日の教育制度に於ては、高等學校の門前に於て其鋒先を折られ

は、明治天皇の御一代に於ける歴史上大なる事業である。前に申したように、政府は、ともすると嫉視するが、聖天子は公平にあらせらるゝ。苟も國家に貢献する教育事業は其の公たり私たり、又は官たり民たりことに就て、決して不公平なる御考はなく、所謂一視同仁、國家に親切なるを御覽あらせられては、これに向つて特別な恩典を御與へにならんと云ふに就ては、聊かも御躊躇遊ばされぬ。であるからして、慶應義塾の創立者たる福澤翁の功勞を思召されては、嘗て授爵の御沙汰が

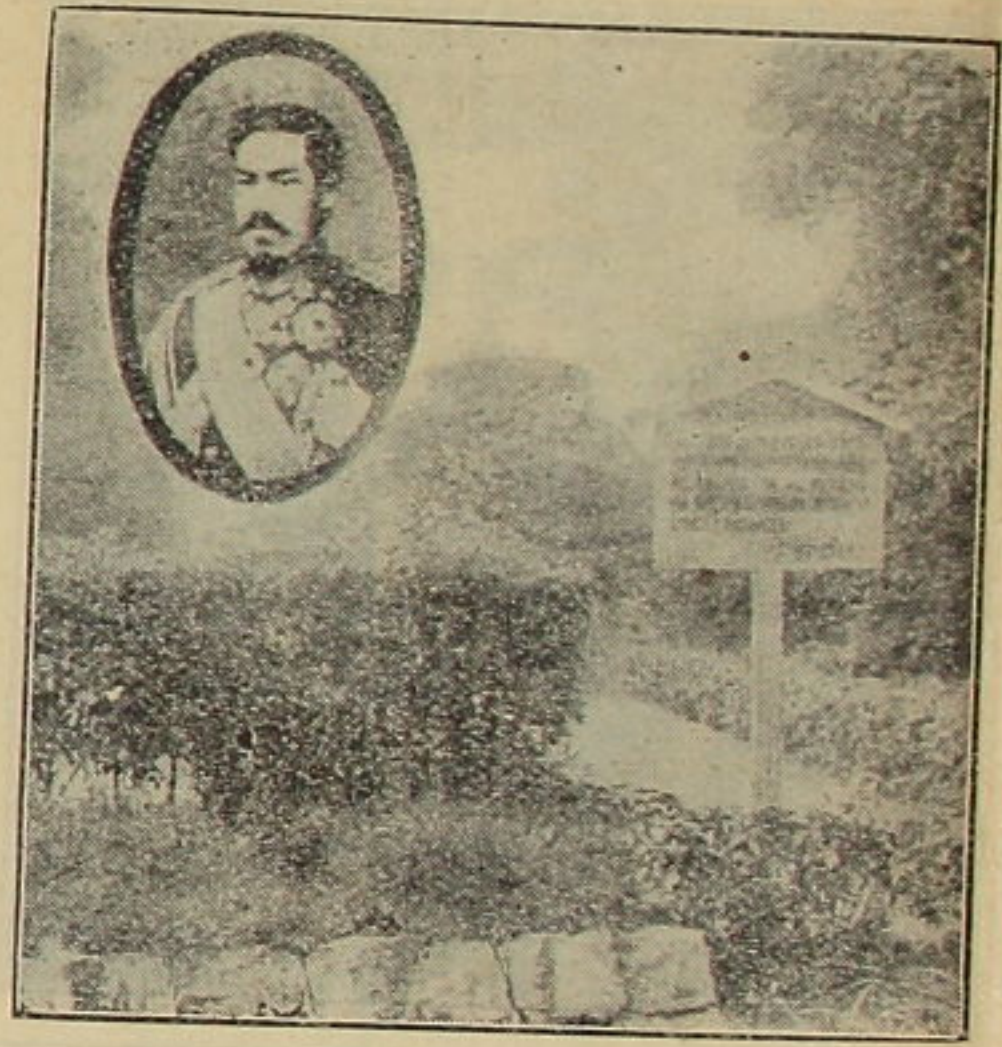
は、明治天皇の御一代に於ける歴史上大なる事業である。前に申したように、政府は、ともすると嫉視するが、聖天子は公平にあらせらるゝ。苟も國家に貢献する教育事業は其の公たり私たり、又は官たり民たりことに就て、決して不公平なる御考はなく、所謂一視同仁、國家に親切なるを御覽あらせられては、これに向つて特別な恩典を御與へにならんと云ふに就ては、聊かも御躊躇遊ばされぬ。であるからして、慶應義塾の創立者たる福澤翁の功勞を思召されては、嘗て授爵の御沙汰が



あたりに一時的の學校が起つたと云ふ様なことが、餘程文明の東漸を助けた譯になつて居る。學校は幼稚と云ひながら、新學を導くに就て、力のあつたと云ふことは申すまでもないことである。

### 其三 濟生學舎

明治の御代になつて政府の學校計營も、無論進んで來た譯であるが、然し私學の計營も益々進んで來たのである。其詳細のことは、僅かの紙面に到底委しく述べることは出來ないが、大體に就て荒つぽく云て見ると、例へば醫術のことに就ては、何人も知れる如く、長谷川泰氏の濟生學舎の如きものが起つて、此學校は無論政府の設備にかゝる醫學校、即ち大學程度の醫學校に比すべくもない、程度の低いものであつたに相違ない。人はともすると、濟生學舎など云つて之を卑下するけれどもこの私立學校が創立以來、國家の爲めにどれだけのことを貢献したかを



助けなかつたならば、恐らく新式醫術の全國に行はると云ふことは、少くとも十年位は後れたであらう。いくら程度が低いと云つても、濟生學舎の卒業生が盛んに地方に開業したことが、非常に長足に醫術を全國に行はしめたのである従て其功は見逃すことは出來ぬ。

### 其四 法律學校

右は醫術に就ての一例を云ふ丈に

### 其五 探偵學生

更に政治經濟等の學科に就て考ふ

與つて力あると云ふことは誰も、異議を挾むことは出來ぬ。兎に角、僅にこれ等の例を探つて見ても、私學は中々教育上大なる貢献をして居ると云ふことが出来る、明治天皇御時代に於て、教育は非常に進歩したに相違ない。然しながら、政府の餘り努めざりし方面の教育事業を、丁度私學が努めたと云ふ譯である。若し假に明治時代に於ける私學の勃興が無なりとしたならば、申すも恐れ多いことながら、明治天皇の御偉業の一つなる教育事業は政府のなすが儘にのみ委ねて居つては、恐くは今日の如き發達はなさなかつたであらう。

### 其六 時代の要求と私學

私學は如斯大切な務をして居るにも關はらず、一時は、政府が非常なる壓迫を加へた。其開た妨害をも與へた。斯く政府は、壓迫妨害を加へたのであるが、然し時勢の進運は、人爲のつくすべき所にあらず、社會は其必要に迫られ、壓迫を受けつゝ、私學は益々進んで來て、最初の十年十五年と云ふものは、何れの學校も殆んど絶命の體で、教師の俸給も支拂ふことが出來なかつた有様であつた。若し創立の際から國家が私學の必要を認め、縦令政府が壓迫を加へないまでも、せめては、政府が妨害を與へないと云ふことをしたなら



ば、私學は十年も前に今日の如き發達をして居つたであらうと思ふ。これは甚だ残念なことであるが、今更云ふても詮のないことである。兎に角非常なる壓迫の下に私立學校が發達し來り、今日では二、三の有力なる私立學校では、百萬乃至二百萬の財産を有するものすらあるようになった。政府は仕事の何事に拘はらず、民間事業に對しては、初めは非常に壓迫を加へ、壓迫を加へても尙

### 其七 私學存在の意義

扱てこの私學が、今日の所では愈

### 其八 聖天子と私學

斯様に觀察し來れば、私學の發達

### 其九

要する

明治の私學 市島謙吉氏談



はなれ。若し濟生學舎の如き私學が

た。勿論政府の設立にかゝる大學に

於ても、法律學は古くより設けられ

て居つたには相違ないが、これは申

すまでもなく極く深い高い程度の學

科を教授する所で、従て其卒業生も

甚だ少數である。もしも私立學校に

於て法律學を多く入學生に教ゆると

云ふことがなかつたならば、新法律

の流布も斯くまで早く行はれなかつ

たに相違ないと思ふ。所謂五大法律

學校の産出した法律の卒業生は萬を

以て數へられる位である。かくて全

く根柢の異つた法律が發布されても

それを全國に行ふに就て、少しも不

自由を感じなかつた譯である。然し

ながら、若しも私立學校に於て法律

を教ゆることがなかつたならば、明

治天皇の最も大なる御偉業の一なる

新法律實行も、或は十年位後れたて

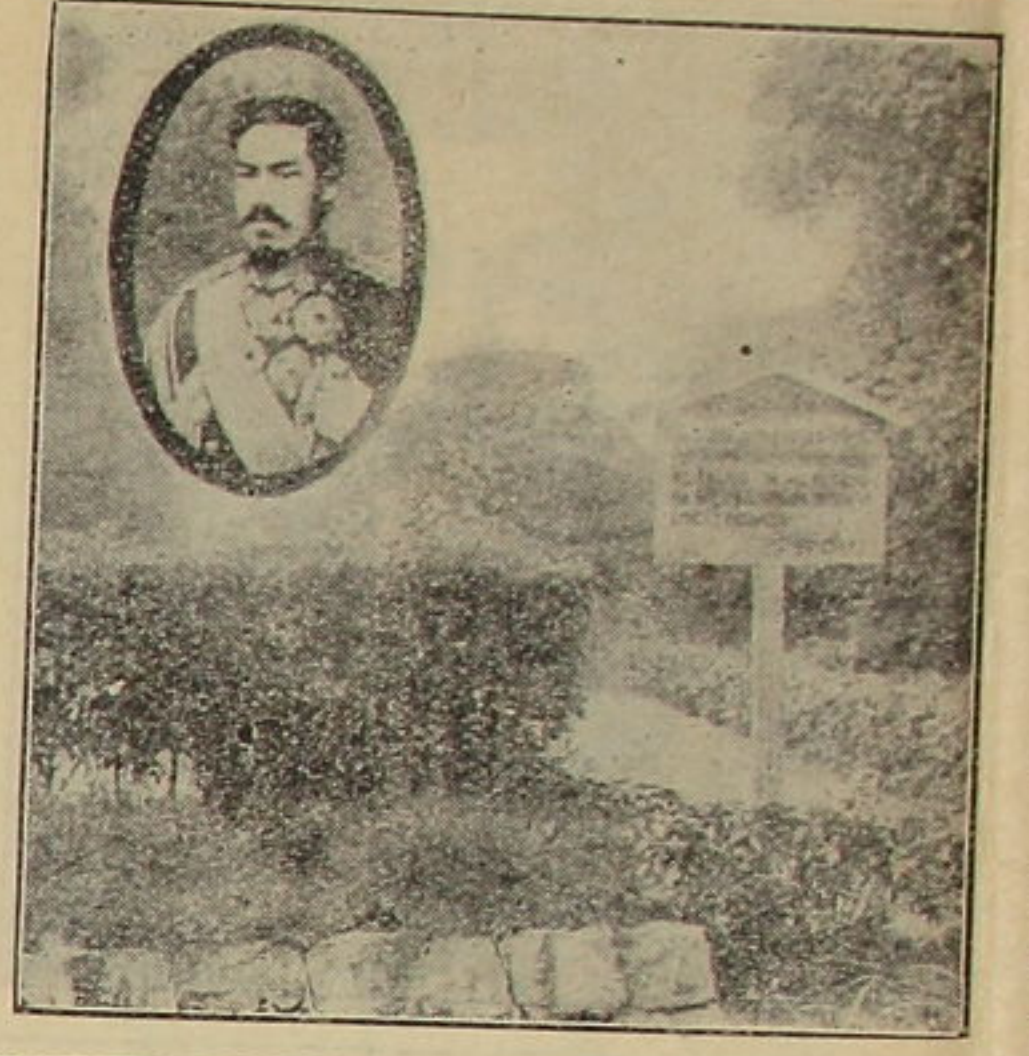
あらうかと思ふはる、次第である。

學校が起つたと云  
程文明の東漸を助  
る。學校は幼稚と  
を導くに就て、力  
とは申すまでもな

### 生學舎

つて政府の學校計  
來た譯であるが、  
益々進んで來たの

ことは、僅かの紙  
飛つぱく云て見る  
ことに就ては、何  
長谷川泰氏の濟生  
こつて、此學校は  
ける醫學學校、即  
に比すべくもな  
であつたに相違  
と、濟生學舎な  
下するけれども  
以來、國家の爲  
を貢獻したかを



助けなかつたならば、恐らく新式醫  
術の全國に行はるゝと云ふことは、  
少くとも十年位は後れたであらう。  
いくら程度が低いと云つても、濟生  
學舎の卒業生が盛んに地方に開業し  
たことが、非常に長足に醫術を全國  
に行はしめたのである従て其功は見  
逃すことは出来ぬ。

### 其四 法律學校

右は醫術に就ての一例を云ふ丈に

### 其五 探偵學生

更に政治經濟等の學科に就て考ふ

ば、私學は十年も前に今日の如き發  
達をして居つたであらうと思ふ。こ  
れは甚だ残念なことであるが、今更  
云ふても詮のないことである。兎に  
角非常なる壓迫の下に私立學校が  
發達し來り、今日では二、三の有力  
なる私立學校では、百萬乃至二百萬  
の財産を有するものすらあるように  
なつた。政府は仕事の何事に拘はら  
ず、民間事業に對しては、初めは非  
常に壓迫を加へ、壓迫を加へても尙

皇后陛下御名代開院宮妃智恵子殿下



發達するものは、政府で御買上げに  
なるのが先づ導線である。例へば、  
鹽製造でも、煙草製造でも其通りで  
あるから、私學も餘り發達して來れ  
ば、或は御買上げにならぬとも限ら  
ぬ。所で左様な御沙汰があつたとし  
ても、私學の經營者は、一寸中々應  
ずるものもなからう。

### 其七、私學存在の意義

扱つてこの私學が、今日の所では愈

は、明治天皇の御一代に於ける  
歴史上大なる事業である。前に申し  
たように、政府は、ともすると嫉視  
するが、聖天子は公平にあらせらる  
。尙も國家に貢獻する教育事業は  
其の公たり私たり、又は官たり民た  
ることに就て、決して不公平なる御  
考はなく、所謂一視同仁、國家に親  
切なるを御覽あらせられては、これ  
に向つて特別な恩典を御興へにな  
ると云ふことに就ては、聊かも御躊躇  
遊ばされぬ。であるからして、慶應  
義塾の創立者たる福澤翁の功勞を思  
召されては、嘗て授爵の御沙汰があ  
つた。(福澤翁は辭して御受け申さな  
かつたけれども)或は又早稻田大學  
の多數の人材を出した功績を御召さ  
れては、尙から恩賜金の御下賜が  
あり、或は今上天皇陛下と仰ぎ奉る  
陛下の、東宮殿下にあらせらるゝ時  
に、特に行啓の御沙汰があつたよう  
な譯で、皇室にあらせられては公平  
にあらせらるゝ。云ふまでもなく文  
部省とは全く没交渉なことで、電話  
一つ御掛けなかつた譯でない。斯く一  
方に於て、文部省が嫉視して居る傍  
に、皇室に置かせられては恩賜の御  
沙汰があると云ふような譯で、常に  
文部省では、之を見て愕駭して居る  
と云ふような次第である。

### 其九 清香なる一枝の花

要するに教育は、明治天皇の御宇

### 要求と私學

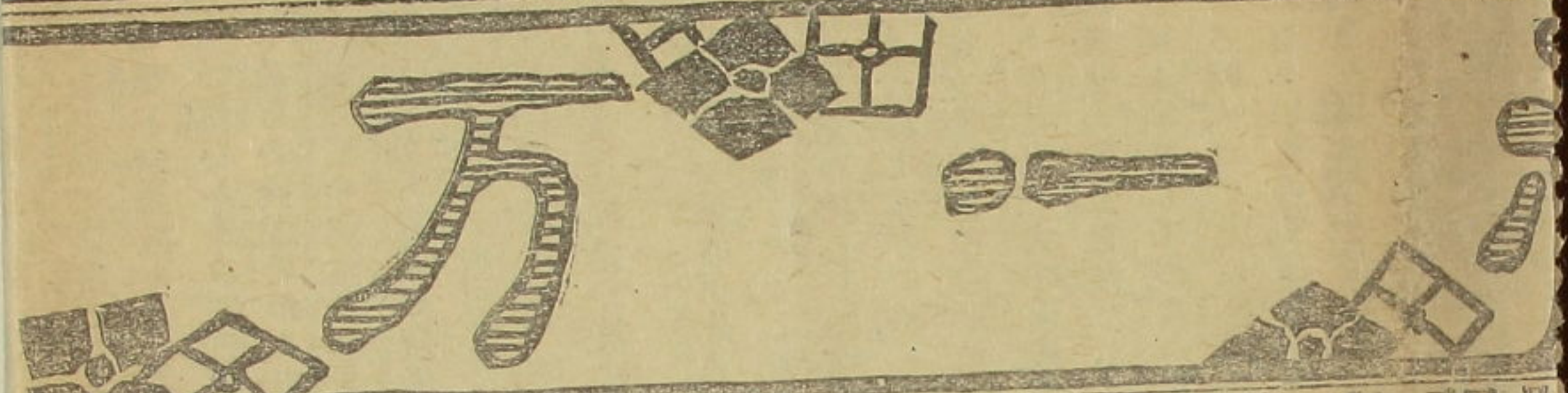
務をして居るに  
政府が非常な  
別に妨害をも興  
壓迫妨害を加へ  
時勢の進運は、  
にあらざる、社  
來て、最初の十  
は、何れの學校  
教師の俸給も  
かつた有様であ  
から國家が私學  
政府が壓迫を加  
ては、政府が妨  
ことをしたなら

市島謙吉氏談

### 其八、聖天子と私學

斯様に觀察し來れば、私學の發達





祝 萬 壹 號 祝 萬 壹 號 祝 萬 壹 號 祝 萬 壹 號

眼科  
內科  
婦人科  
齋藤醫院

外來入院隨意

佐藤醫院

新津町中澤  
(電話百二十番)

材木商

鈴木八百藏

(電話百二番)

新津町

製油所

石崎政五郎  
石崎甚藏  
石崎清助

祝 萬 壹 號  
公債株式會我平吉  
現物仲買

新津町通信所

祝 萬 壹 號  
公債株式會  
現物問屋  
新津町  
五十五嵐商店  
(電話一四二番)

新津町  
鹽田株式店  
(電話十九番)

祝 萬 壹 號  
公債株式會  
現物問屋  
新津町  
鹽田株式店  
(電話十九番)

祝 萬 壹 號  
御旅館 梅の木屋  
新津町停車場前通  
(電話二十三番)

御旅館 長谷川たか  
新津町新金町  
かるめ屋號  
特に御商人の御宿泊に勉強致候

御旅館 三條屋  
新津町停車場前

祝 萬 壹 號  
穀類  
肥料  
荒肥料類

祝 萬 壹 號  
紀念  
御料理  
その他

祝 萬 壹 號  
煙草  
加  
ガラズ  
家根

祝 萬 壹 號

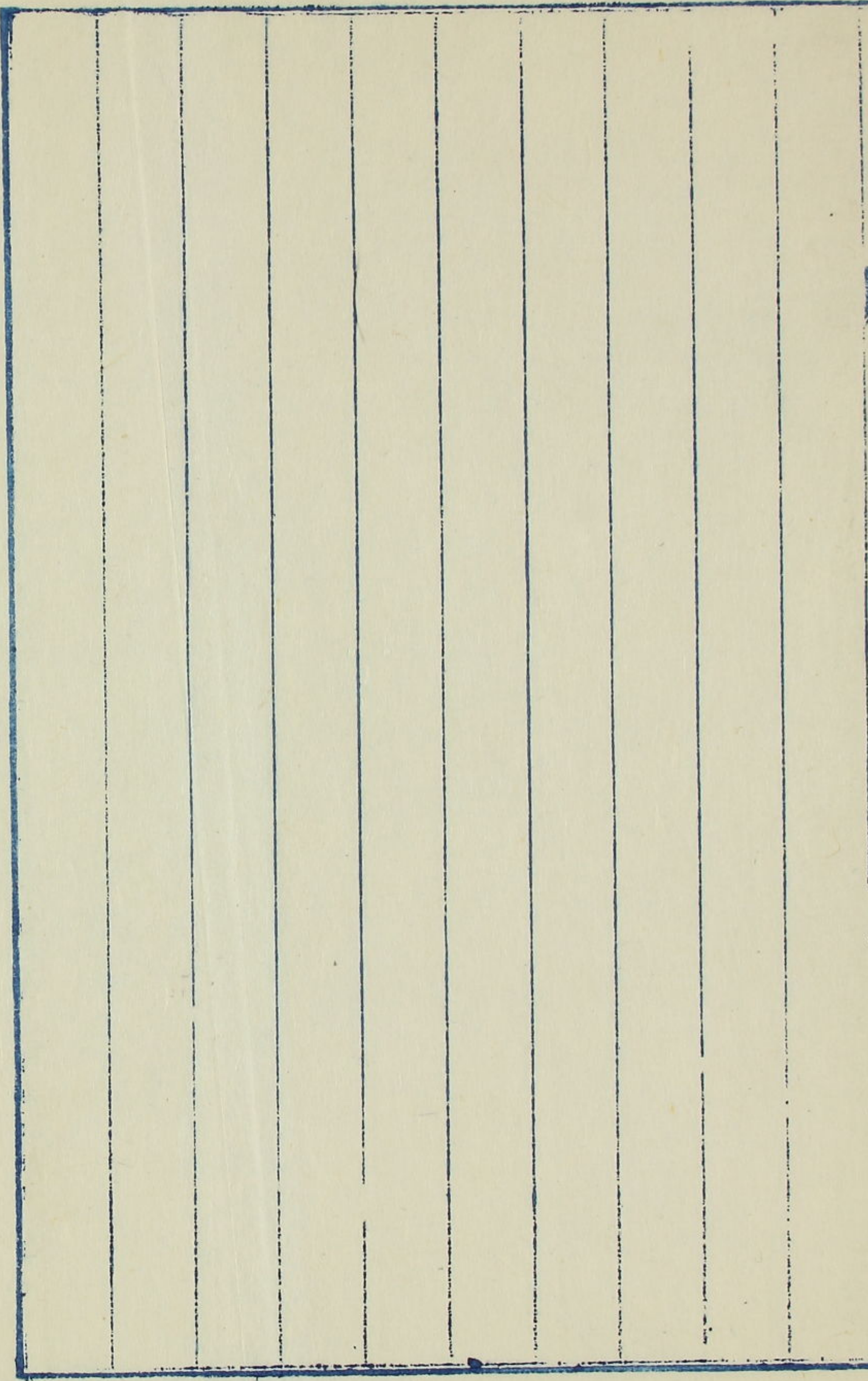
祝 萬 壹 號

長岡  
辯護士

新津町通信所  
新津町停車場前  
石崎甚藏  
石崎清助  
石崎政五郎  
御旅館 三條屋  
御旅館 梅の木屋  
御旅館 長谷川たか  
齋藤醫院  
佐藤醫院  
鈴木八百藏  
製油所

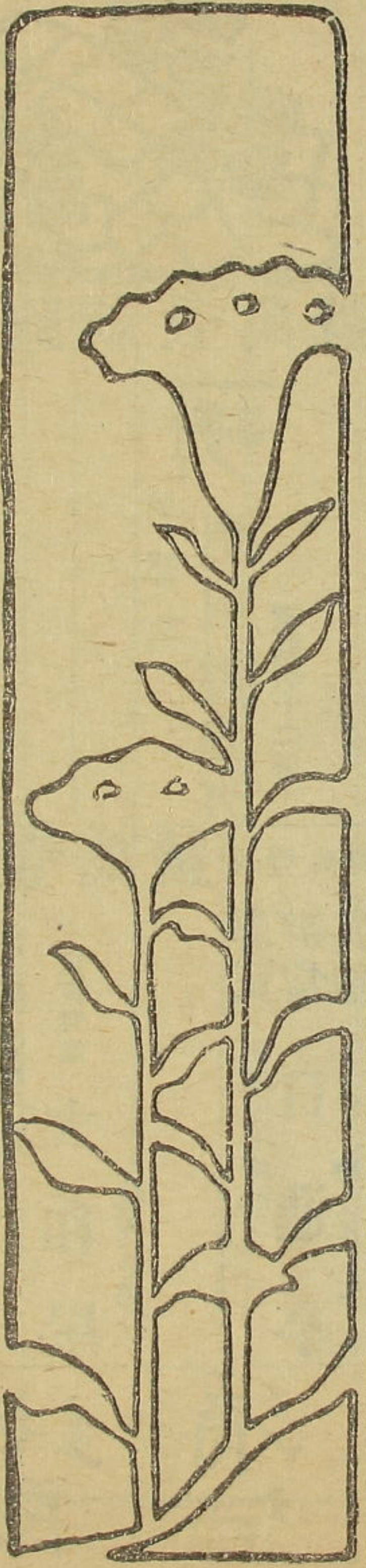


早稲田大學圖書館  
早稲田大學圖書館  
早稲田大學圖書館



### 本邦に於ける私學の發達

早稲田大學 市島謙吉



明治天皇の御偉業は空前の盛事にして就中天皇が常に教育の普及に軫念あらせられたる爲め、之れが發達進歩を示したるは非常の大現象にて國運隆々の今日を致したる所以はまた教育の力多きに居ると云ふも決して誇張の言ではない。而して此の教育の發達に就ては官固より功績ありしには相違ないが同時に私學の貢獻した功績も非常のものである。然るに世の憤々者流往々にして私學の功を閑却するの嫌ひあるは慨嘆に堪へざる事、若し教育の發達史から私學を除けば恐らく其教育史の無意味の者となるであらう。而して如此私學の發達を示したるものもた以て明治天皇が常に一視同仁の教養御思召に依る義にて、國家教育の爲め私學の爲めに感佩措く能はざる所である。

一 私學が如何なる活動を爲したるかは明治天皇の御偉業を奉頌すると共に國民が閑却すべからざる事だと思ふ。

二 私學が最初に起つた目的は言ふ迄もなく文明の東漸初期に當つて文明思想の普及宣傳にあつたに相違ない、従つて其手段として外國語學を教へるのが大部分の仕事であつた。乍併是等最初の私學に於ては彼の福澤翁の如き尺翁の如きが單に學者である云ふ様な單純なる人々ではないので、凡て一代の師表と仰ぐべき偉大なる人格を有した爲め其薰陶感化の及ぼす所想像以外に深甚なる者であつた。之れは現に當時其等の私學より生れ出た人々が、後年執に立つも野に居るも皆明治の大業を成就するに與つて力ありし人々なる事に依ても証據立てらる。

三 我國の私學は或時期に於ては非常に政府に嫌忌せられ従つて壓迫を加へられた事が屢次あつた。仔細は私學本來の職能として學術の自由研究と同時に思想の自由を尊重した爲め其講ずる所往々にして政

御歌所寄人 鎌田正夫氏 書  
同 大口鯛二氏 書

小越新報

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百



本邦に於ける私學の發達

早稲田大學 市島謙吉

明治天皇の御偉業は空前の盛事に就て就中天皇が常に教育の普及に熱心あらせられたる爲め、之れが發達進歩を示したるは非常の大現象にて國運隆々の今日を致したる所以はまた教育の力多きに居ると云ふも決して誇張の言ではない。而して此の教育の發達に就ては官固より功績ありしに相違ないが同時に私學の貢獻した功績も非常のものである。然るに世の憤々者流往々にして私學の功を閑却するの嫌ひあるは慨嘆に堪へざる事、若し教育の發達史から私學を除けば恐らく其教育史の無意味の者となるであらう。而して如此私學の發達を示したるものも、以て明治天皇が常に一視同仁の教を御思召に依る義にて、國家教育の爲め私學の爲めに感佩措く能はざる所である。

明治天皇の教を御思召に依り我國の私學は非常の發達を示したが、之と同時に私學が天皇の御心を體揚すべく間接に御偉業を助成し奉りし事も頗る多い。頗るに我國文明東漸の初期に當りては政府に於ても開成所、大學南校の如きを經營し泰西學術の普及を圖りしに相違ないが、之れと前後して幾多の私學起り最も幼稚なる時代に文運の發達を助成した功は容易ならぬものである。例へば慶應義塾の如きは實に今を距る事六十年前に創立せられ明治天皇御即位と前後して起つた。勿論當時の慶應義塾は新錢座に徴々たる家塾を開いた位のもので極めて小規模のものには相違ないが、然し之れが爲めに新學を紹介した功は没すべからざるものである。また尺振八翁が現今の早稲田伯の邸宅の處に於て子弟を集めて英學を教へた事や、其他小なるものを擧ぐれば幾らもあるが兎に角是等を發端として爾來私立學校は各所に經營せられ、醫學の方面に於ける長谷川泰氏の濟生學舎、各所の法律學校、或は單に法律のみならず之に政治經濟等を加へた専修學校、早稲田大學の前身たる東京專門學校等が續々起つた。以上は勿論東京のみならず、是等の趨勢は次第に全國に及ぼし京都、大阪、初め其他極要なる府縣には追々私學は設けられ、例へば新潟縣に就て見るも政府の英學校經營の前に於て既に新潟英學校等もあつた如く各地に起つたものである。是等の私學に就ては一々年代的に列擧する煩は暫く避くるが兎に角東京の有力な

私學が如何なる活動を爲したるかは明治天皇の御偉業を奉頌すると共に國民が閑却すべからざる事だと思ふ。

私學が最初に起つた目的は言ふ迄もなく文明の東漸初期に當つて文明思想の普及宣傳にあつたに相違ない、從つて其手段として外國語學を教へるのが大部分の仕事であつた。乍併是等最初の私學に於ては彼の福澤翁の如き尺翁の如きが單に英學者である云ふ様な單純なる人々ではなないので、凡て一代の師表と仰ぐべき偉大なる人格を有した爲め其薰陶感化の及ぼす所想像以外に深甚なる者であつた。之れは現に當時其等の私學より生れ出た人々が、後年制に立つも野に居るも皆明治の大業を成就するに與つて力ありし人々なる事に依つて證據立てらる。

我國の私學は或時期に於ては非常に政府に嫌忌せられ従つて壓迫を加へられた事が屢次あつた。仔細は私學本來の職能として學術の自由研究と同時に思想の自由を尊重した爲め其講ずる所往々にして政府の政略と扞格衝突する事もあつた、況んや當時に在ては未だ憲法も定まらず社會政治上に於ては混沌たる時代なれば泰西の學理を自由に横議する事は政府が政略の邪魔になると思ふたのも一應は無理ならぬ事である。併し之を事實に徴するに這般私學教育の力は一方に於ては爲政當局の横暴を防ぎ他方に於ては政府

法醫を打破して新式の醫術を最も速かに傳播すると云ふ事は容身の業ではないのである。然るに長谷川泰氏の濟生學舎と云へば之を官學に比すれば程度の低いものであつたから動もすれば高い處からは

御歌所寄人 鎌田正夫氏 畫 大口鯛二氏 賛



愛子孫法如の法を傳へ  
風を吹かせ給ふ御  
釋  
村在 謹成

男爵細川潤二氏筆

國家の法律を全く根柢より變革した事は明治天皇御一代中の大事業である、しかも此新法律を全國に一時に公布し國民克く之を遵奉し服従し執法者また左までの困難を感せざりし所以のもの固より明治天皇曠世の御稜威に由る義に相違ないが

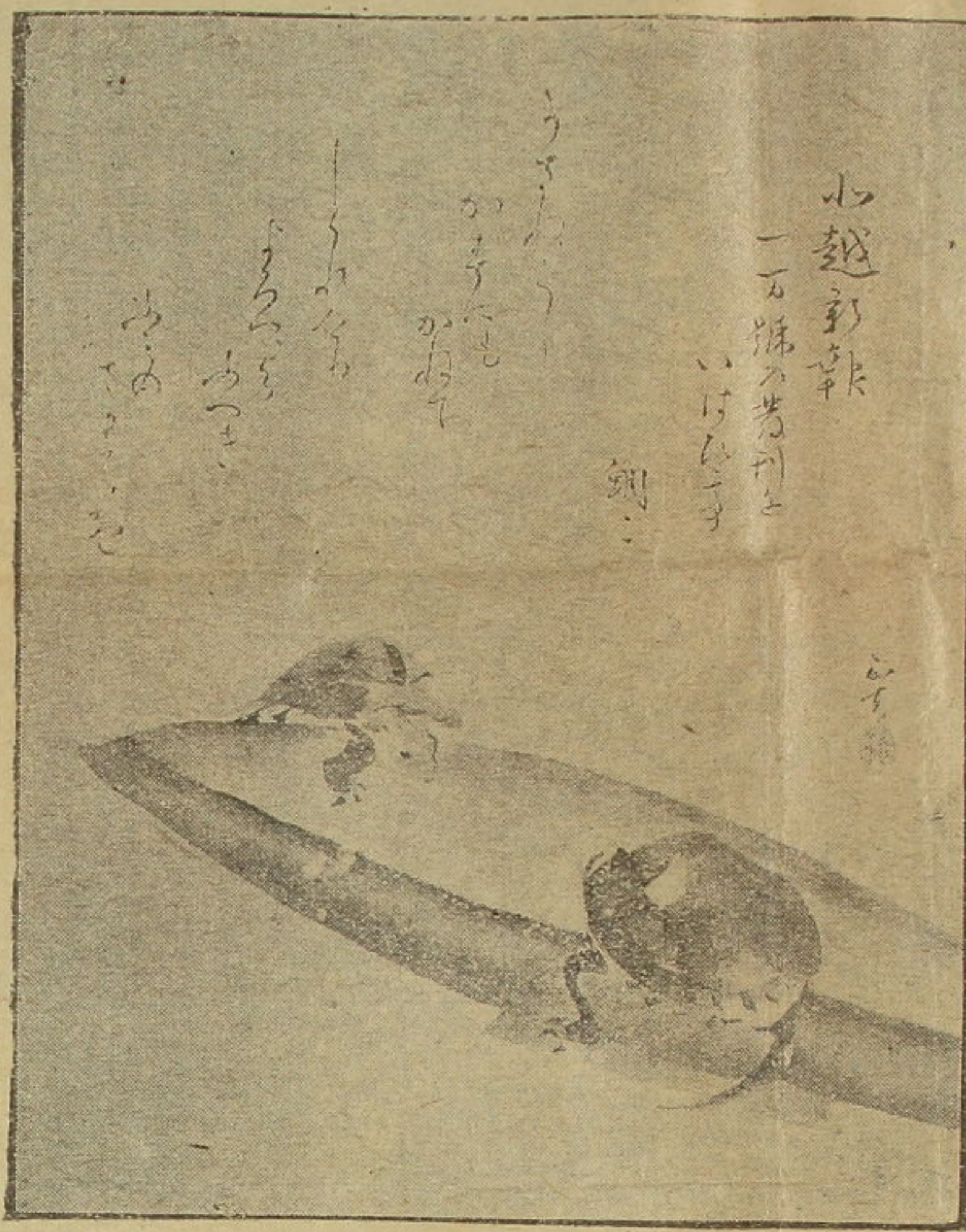
若夫政治經濟と云ふ勿論政府の施設中に及せしめた功に至つ及せしめた功に至つ負ふ處が多い。由來は往々にして政府の必要なるに拘はらず之を口にするまでもに法制經濟の科を設きは極めて最近の事偏狭なる政府の態度して盛んに是等の學獻したのは主としてだ。早稲田、慶應、の法律學校も政治、盛んに教授したものは各國の政治状態を會當時政府が是等の學像する事能はざるも





法醫を打破して新式の醫術を最も速かに  
傳播すると云ふ事は容易の業ではないの  
である。然るに長谷川泰氏の濟生學舎と  
云へば之を官學に比すれば程度の低いも  
のであつたから動もすれば高い處からは

御歌所寄人 鎌田正夫氏畫  
大口鯛二氏贊



小越新井  
一石流の若洲と  
いけいこす

輕蔑される嫌ひもあつたが、其卒業生は  
幾万の多きに達し之が全歐津々浦々に散  
在して新式の醫術を流布した功は非常の  
もので、若當時濟生學舎及び其他之に類  
する私學微つせば、新式醫術の普及は確  
かに十年乃至十五年の後れを見ただであ  
らうと思ふ。

新海舟  
筆氏郎二潤川細爵男

國家の法律を全く根柢より變革した事は  
明治天皇御一代中の大事業である、しか  
も此新法律を全國に一時に公布し國民克  
く之を遵奉し服従し執法者また左までの  
困難を感せざりし所以のもの固より明治  
天皇曠世の御威威に由る義に相違ないが

しかも一面に於ては私學が盛んに勃興し  
て所謂五大法律學校即ち早稻田、明治、  
中央、和佛、専修の如きが多く新法律發  
布を機として起り盛んに之れを講述し法  
律思想の普及を計つたのも有力なるもの  
である。思ふに以上五大法律學校が約三  
十年間に社會へ送り出したる卒業生は十  
萬にも垂んとするであらうが、是等輩出  
した人々が全國に散在して法律思想の宣  
傳に努めた事は非常のものである。尤も  
政府に於ても帝大大學に科を設けて教へ  
てある、併し帝國大學に於ては深遠なる  
學理の講究に専らにして從つて收容の人

數も少なく、之を私學の卒業生に比すれ  
ば九牛の一毛に過ぎないのである。故に  
若し政府が新法律を布くに當り其研究が  
單に帝國大學のみ止まりたりとせば、  
是亦其普及は恐らく十年乃至十五年の後  
れを見、政府も國民も非常なる困難を感  
じた事であらう。

若夫政治經濟と云ふが如き學科に於ても  
勿論政府の施設中にあるも廣く一般に普  
及せしめた功に至つてはまた私學に普  
及せしめた功に多し。由來政治經濟の如き學問  
は往々にして政府の政略を可とする材料  
を與へる懸念あるを以て其學問の極めて  
必要なるに拘はらず政府は各種の學校で  
之を口にするだも忌むだもので、中學校  
に法制經濟の科を設くる事を承認した如  
きは極めて最近の事である。しかも當時  
偏狹なる政府の態度に盲從せず其職能と  
して盛んに是等の學科を教授し社會に貢  
獻したのは主として私立學校であつたの  
だ。早稻田、慶應、専修學校等は勿論他  
の法律學校も政治、經濟の學科を加へて  
盛んに教授したもので其結果初めて西洋  
各國の政治狀態を會得する事を得、憲法  
行政法等が一般社會に流布した譯である  
當時政府が是等の學科に努力する私學に  
向つて如何に壓迫を加へたかは今より想  
像する事能はざるものにて、或時は是等  
の學校を目して謀反人の養成所と見做し

甚しきは密偵を學生に扮せしめて學校  
に送るが如き陋劣極まる事を敢てし、或  
は官立學校の教員にして私立學校に教鞭  
を執る事を禁じ、或は陰險なる法律命令  
を以て私學の不便を來さしめ一時は其在  
立を危からしむる位であつたが、併し早  
等の私學にして政治經濟等の學說を宣傳  
せざりしならば恐らく憲法を施行し或は  
選舉を行ふに當つても非常の困難を感じ  
た事であらう。勿論帝國の立憲政體は明  
治天皇御偉業中の偉業にして全く天皇躬  
ら我々國民に賜はりたるもので、聖恩の  
宏大なる我國民の永劫に亘りて感銘すべ  
きであるが、此聖旨を奉體するに遺憾な  
きを期する爲め立憲思想の宣傳に努めた  
るものは私立學校最も有力にして、此點  
に於て我私學の大部分は先帝陛下の輔弼  
と功績を同するものと稱して差支へな  
い。

初めて成功すべきものである。元來斯る  
種類のものは到底營利的觀念を以て經營  
し得らるべきものに非ざるは勿論、時の  
政府の壓迫にも充分堪へ得る底の覺悟を  
有し眞子國家の爲めに獻身的活動を爲す  
ものにあざれば經營し能はざるもので  
ある。果せる哉我國私學三十有餘年間の  
歴史は、殆んど私學對政府の奮闘史であ  
つた、しかも私學は常に幾多の困難に抵  
抗して挫折する事なく益々奮闘せし爲め  
幸ひに着々成功し常に政界の革新を促進  
し憲政をして完美の域に導く事を得た。  
是吾人が私學の歴史を明治教育史より除  
外すれば開は全く無意味なる教育史なり  
と言ふ所以である。若夫私學に於ては  
以前の高等程度の官學の教育が多く外國  
人の手に依り外國語のみを以て教授する  
は永遠の得策にあらず何の學術に限らず  
凡て邦語を以て教育するの方針を定め新  
なる教授法を創始せしが如き、或は近年  
各地方中學校増設せられるにも拘らず  
政府直轄學校の數尠なく、年々多大の中  
學卒業生を收容する能はざるに際し、各  
私立學校が多大の貢獻をなしたる功  
績等に至つては、敢て贅辭を挿む迄も  
ない事である。

何れの時代に於ても私學なるものは所謂  
風雪の間に培養せらるるものであるか、  
明治時代に於ける私學が風雪に苦んだの  
も久しいものであつた。乍併寒苦に培養  
されたる花は室陰の脆弱なるものにあら  
ずして頗る雄勁なるもので、期して我國  
の私學は次第々々に實力を積集して來た  
凡を何事に依らず實力には勝てないもの  
で、是等の私學が如何に發達したかは十  
年前計りに於て皆大學の名稱を附するに  
至つた事でも分かる、政府當局は之に就

て如何なる感を懷いて居たかは知らぬが  
兎に角大學なる名稱を認めざるに至りし  
は取りも直さず私學の實力を認めざるを  
得ざるに至りし結果に外ならぬ。今日に  
至るも當局者は時に或は私學を以て政府  
の經營と競争するものと見做し往々嫉視  
する傾きがあつて、爲めに私學は其實力  
の割合に進歩を阻止せらるるとの曰むなき  
ものもあるが、併し大體に於て先帝陛下  
の御宇五十年間の進歩は著しいものであ  
る。現に慶應義塾の如き早稻田大學の如  
きは其基本財産百五十萬圓乃至二百萬圓  
にも達し、特に早稻田大學に於ては私學  
として到底經營不可能なりと唱へられた  
る理工科へ設置するに至つた。百花園  
燦たる明治天皇の御治世を飾りし中に、  
所謂此の風雪の間に培養されたる一種清  
香の花ありし事を除外する様の事があつ  
ては、明治天皇の御盛徳の一部を掩ひ奉  
ると同様の譯で、世の明治教育史を編む  
ものゝ大に心をすべき所である。

互ひに相切磋してこそ効果の擧がるもの  
である。賢くも明治天皇に於かせられて  
は、官私兩學の關係に就て如何なる聖  
あらせられたかは我々の親ひ知るべきで  
はないが、其御治績に依り私かに付度し  
奉る所に依れば、其間何等御愛憎なく  
最も公平に擧はせられ一視同仁の御恩召  
であつたと恐察すべき理由がある。例へ  
ば文部當局が動もすれば私學を嫉視し  
に壓迫を加へつとある間に早稻田大學に  
對して特に恩賜金の御沙汰ありしが如き  
また今上陛下に於かせられては近く皇太  
子にて座したる御折に、特別の御恩召に  
て早稻田大學へ行啓あらせられたるが如  
き、文部當局が却て驚駭する事多く、聖  
恩の優渥なる寔に感泣の外なき次第であ  
る。吾人は世の私立學校と共に益々發  
奮して斯學の發達を圖り、以て聖恩の  
萬一に酬い奉らむ事を期すべしである。



短歌時言  
平出修  
我々の友達の多くは短歌を棄ててしま  
つた。棄てたと云つてもいろいろの意



早稲科  
田田  
力用  
學學  
國國  
書書  
館館

早稲科  
田田  
力用  
學學  
國國  
書書  
館館



以下全て  
白紙

早稲田大学  
図書館蔵書

早稲田大学  
図書館蔵書



早稲田邦學叢書



